

特定非営利活動法人「えこお」の事業内容

◆ほんものとの出会いの場づくり事業：

「ミュゼ フィエスタ」の開催

子どもと大人がともに楽しみ、感動を共有できる場を手づくりで創る客席一体型のコンサートで、毎回子どもたちとプロの音楽家とのジョイントを盛り込んでいるのが特徴です。

◆交流事業：ふれあいコンサート

世代を超えて楽しめる小規模でアットホームなコンサートを企画・運営しています。

◆教育ボランティアの養成

筑波大学附属大塚養護学校と連携しながら、講座や研修等を通じて、各種事業へ参画する人材の育成に努めています。

◆子どもの遊び場「けやき塾」開催支援

社団法人キリスト教同仁社団・同仁美登里幼稚園にて毎週土曜日の午前中に開催されており、企画や運営支援を行っています。

◆SO※²陸上競技部門の運営支援

競技会の運営と日常のスポーツプログラムの指導に関わっています。

【主催事業】

■ほんものとの出会いの場づくり事業

- 「ミュゼフィエスタ」の開催

■交流事業

- ふれあいコンサート等の開催

■教育ボランティア養成事業

- ハンディキャップライフサポートリーダー※¹の養成

■各種支援・協力事業

- トヨタロビーコンサートの開催支援
- 子どもの居場所「けやき塾」の開催支援
- スペシャルオリンピックス※²陸上競技部門の運営支援
- 筑波大学附属大塚養護学校における各種取り組みの支援
- お茶の水女子大学インターン受け入れ協力

【支援事業】

■各種委託事業

- 文京区特別支援子育て事業「ふれんど」(平成17年度～)
- 文京区教育委員会「バリアフリーパートナー」(平成16年度～)
通常学級に在籍するLD、ADHD等の児童・生徒の学校生活を支援する事業です。
- 文京区「日曜青年講座」
心身障害学級の卒業生のための集いを委託・運営しています。

【委託事業】

◆文京区特別支援子育て事業「ふれんど」

特別な支援を必要とする児童の放課後の居場所対策として、保護者が昼間不在となる場合等に、児童を一時的に預かり、遊びと生活の場を提供する事業です。保護者の精神的・肉体的負担感を軽減し生活範囲を広げ、子育てを支援することを目的に、月曜から土曜の放課後から午後6時まで、文京区立林町小学校1階で実施しています。

◆文京区「バリアフリーパートナー」

文京区とボランティアやNPOが協働して心身障害児教育を支援する事業です。通常学級に在籍するLD、ADHD等の児童・生徒への学校生活の援助に参加する、大学生・社会人の研修やサポートを行うと同時に実際に一緒に活動しています。

◆文京区「日曜青年講座」

文京区立第三・九中学校の心身障害学級の卒業生のために開催されている集いを委託・運営しています。

※1：「心身の障害をもつ人への支援技術を有する者」を当法人では「ハンディキャップライフサポートリーダー」と称しています。

※2：知的発達障害の自立と社会参加を目指し、日常的なスポーツプログラムと、その成果の発表の場である競技会を提供するもの。

※「えこお」の名の由来・・・「えこお」は、「共に響きあう」、「こだまする」という意味の英単語“echo”から来ています。お互いに感動を共有する場づくりをすると共に、①「えこお」自身が感動を共有できる場、想いが響き渡る場であること、②10代から60代まで多世代に渡る会員間がお互いを尊重し、思いを伝え合い意見を言える場であること、を願って名付けられています。単なる英単語の意味を超えた願いと、よく間違えられる環境の“ECO”と区別する意味で「エコ」でも「エコー」でもない、「えこお」という表記にしています。